

補助事業番号 20 - 22

補助事業名 平成 20 年度 車両情報システムの研究開発等補助事業

補助事業者名 財団法人 車両情報センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

車両情報システムにおける運用経費の削減と、同システムの安全性及び拡張性を向上するための開発を行うことにより、機械工業、とりわけ平成 20 年度補助方針の補助対象重点項目の一つである自転車に関する事業の振興に寄与することを目的とした。

### (2) 実施内容等

<実施内容>

#### ①次世代車両情報システムの開発

次世代車両情報システムの開発として、平成 21 年 10 月のセンターシステム稼働を目指し、「次世代トータリゼータシステムの構築」に着手し、システムの要件定義を行い、次世代トータリゼータシステム、ネットワークシステムの開発業者を入札により選定した。また「インターネットによる自転車競技の動画サービスシステム」の開発業者を入札により選定し、開発を実施した。

#### ②お客様の利便性向上を図るための開発

お客様の利便性向上を図るための開発として、インターネットの機能改善に関する開発を実施し、「お気に入り」指定した情報等をイベント開催当日朝にメールでお知らせするサービス等を平成 20 年 12 月から開始し、また、平成 21 年 3 月から加入者 1 人当たり 1 日の最大ベット数を 999 ベットから 3,000 ベットに拡大するとともに、登録可能な電話投票加入者口座数を 64 万口座から 96 万口座に拡大した。ネットバンクシステムについては、最大 10 行のインターネットバンクと接続可能なシステム構成とする開発を行い、平成 21 年 3 月に新システムに移行した。

#### ③システムの信頼性向上を目指した開発

ホームページのポータル部に障害が発生した場合であってもインターネット投票ができるようにするため、代替ポータルへの切り替えを可能とするシステム改修を平成 20 年 10 月に実施した。また、車両情報システムの稼働状況の監視にあたり、対象システムの拡大やリアルタイム化にも対応可能なシステム構成とするため、統一された監視ソフトを導入してサーバ及びネットワーク機器の生存監視を可能とする開発を行った。

#### ④自転車競技制度改正対応開発

前年度に実施された自転車競技制度改正に完全対応するシステム開発を実施し、平成 20 年 7 月及び 12 月に適用した。また、平成 21 年度から実施される新しい自転車競技番組に対応するためのシステム改修を平成 20 年 12 月と平成 21 年 3 月の 2 回に分けて実施した。

## <成果>

売上額が減少している状況下で、新たなシステムを開発・運用することにより、自転車競技施行者をはじめ自転車関係団体において、車両情報システムの運用経費を軽減させることができ、自転車競技の振興に寄与することができた。

### 2. 予想される事業実施効果

- ①次世代車両情報システムの開発により、自転車競技施行者の運用経費削減につながることを期待される。
- ②インターネットの改善に関する開発により、自転車競技ファンに対する情報サービスの充実、特にインターネットの利便性の向上によって情報サービスの向上に寄与するものと考えられる。
- ③システムの信頼性向上を目指した開発により、車両情報システムの安全性の向上が期待できる。
- ④自転車競技制度改正対応開発により、自転車競技の円滑な開催運営に資することが期待できる。

### 3. 本事業により作成した印刷物・本事業により導入した設備 なし

### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 財団法人 車両情報センター（シャリョウジョウホウセンター）

住 所： 102-0085

東京都千代田区六番町4番地6 英全ビル

代 表 者： 理事長 阿部 毅一郎（アベ キイチロウ）

担 当 部 署： 総務部（ソウムブ）

担 当 者 名： 課長 山田 実（ヤマダ ミノル）

電 話 番 号： 03-3512-1301

f a x : 03-3512-1305

E-mail : <mailto:info@vicnet.jp>

U R L : <http://www.vicnet.jp/>